

フォワーディングデータベース

概要・基本設定	2
FDB エントリー	2
自動学習とダイナミックエントリー	2
スタティックエントリー	3
コマンドリファレンス編	5
機能別コマンド索引	5
ADD SWITCH FILTER	6
DELETE SWITCH FILTER	8
DISABLE SWITCH AGEINGTIMER	10
ENABLE SWITCH AGEINGTIMER	11
RESET SWITCH FDB	12
SET SWITCH AGEINGTIMER	13
SHOW SWITCH FDB	14
SHOW SWITCH FILTER	17

概要・基本設定

フォワーディングデータベース (FDB) は、スイッチが受信フレームの転送先ポートを決定するために使用するデータベースです。本製品は最大 8K のアドレスを登録できます。

FDB エントリー

FDB 内の各エントリーは次のようなフィールドで構成されています。

フィールド	内容
MAC アドレス	ステーションの MAC アドレス
ポート番号	ステーションが存在するポート
VLAN ID	ステーションが所属する VLAN
アクション	該当ステーション宛てフレームの処理方法。転送 (FORWARD) のみ

表 1:

スイッチは、フレームの宛先 MAC アドレスをキーに FDB を検索して出力ポートを決定します。宛先アドレスが FDB に登録されていない場合は、同一の VLAN に所属するすべてのポート（受信ポートを除く）からフレームを出力します（フラッドイング）。

- 本製品に IP アドレスを設定していない場合、本製品の MAC アドレスを送信元アドレスとするパケットは、フラッドイングされます。

FDB エントリーには、次のような種類があります。

種別	内容
ダイナミックエントリー	学習機能により自動的に登録されたエントリー。一定時間受信がなかったエントリーは削除される（エージング）。また、システムを再起動すると、すべてのエントリーが削除される。
スタティックエントリー	管理者が手動で登録したエントリー。ADD SWITCH FILTER コマンドで登録する。設定をファイルに保存すれば、再起動後にも使用できる。

表 2:

FDB はスイッチの学習機能によって自動的に構築されていくため、通常管理者が設定すべきことはありませんが、FDB を参照したり、タイマー設定を変更したり、エントリーを手動で登録したりすることも可能です。

自動学習とダイナミックエントリー

スイッチは、その動作の過程において、受信フレームの送信元 MAC アドレスと受信ポートの情報に基づき FDB エントリーを動的に作成していきます。これを自動学習機能と呼びます。また、自動学習により登録されたエントリーをダイナミックエントリーと呼びます。

個々のダイナミックエントリーにはタイマーが用意されており、一定時間（エージングタイム）受信のなかったアドレスは FDB から削除されるようになっています。これは、電源が切られたり、移動したりして

無効になったエントリーが、いつまでも残らないようにするためです。一方、時間内に再度受信があったときはタイマーがリセットされます。このようにして、常に最新の情報が保たれます。

FDB の内容を確認するには、SHOW SWITCH FDB コマンド (14 ページ) を実行します。

ダイナミックエントリーを削除するには、RESET SWITCH FDB コマンド (12 ページ) または RESET SWITCH コマンド (「スイッチング」の 70 ページ) を実行します。ただし、RESET SWITCH コマンド (「スイッチング」の 70 ページ) を実行すると、ダイナミックエントリーがクリアされるだけでなく、タイマーやカウンターもリセットされてしまうため注意が必要です。

- 学習機能をオフにすると、ほとんどのフレームが同一 VLAN 内の全ポートに出力されるようになるため、スイッチというよりも HUB に近い動作となります。

エージングタイム (MAC アドレス保持時間) を変更するには SET SWITCH AGEINGTIMER コマンド (13 ページ) を使用します。1 ~ 16383 (4 時間 33 分 3 秒) の範囲で指定できます。デフォルトは 300 秒 (5 分) です。

```
SET SWITCH AGEINGTIMER=600 ↓
```

エージングを無効にするには DISABLE SWITCH AGEINGTIMER コマンド (10 ページ) を実行します。これにより、ダイナミックエントリーは登録されるだけで削除されなくなります。デフォルトではエージングは有効です。再度有効にするには ENABLE SWITCH AGEINGTIMER コマンド (11 ページ) を実行します。

エージングの設定を確認するには SHOW SWITCH コマンド (「スイッチング」の 93 ページ) を使います。

スタティックエントリー

手動で FDB エントリーを追加するには ADD SWITCH FILTER コマンド (6 ページ) を使います。

FDB エントリーは 2048 件まで登録可能です。

タグなしポートにスタティックエントリーを追加します。

```
ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=00-00-f4-12-34-56 PORT=8 ↓
```

タグ付きポートにスタティックエントリーを追加するときは、VLAN 名または VLAN ID も指定します。指定しなかった場合は該当ポートのタグなし VLAN を指定したものと見なされます。そのため、ポートがタグ付き VLAN にしか所属していない場合は必ず指定する必要があります。

```
ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=00-00-f4-99-88-76 PORT=1 VLAN=white ↓
```

- ポートセキュリティが有効なポートには登録できません。
- MLD Snooping の対象 VLAN に所属するポートには登録できません。

スタティックエントリーは SHOW SWITCH FILTER コマンド (17 ページ) で確認できます。

スタティックエントリーを削除するには、DELETE SWITCH FILTER コマンド (8 ページ) を使います。

```
DELETE SWITCH FILTER PORT=8 DESTADDRESS=00-00-f4-12-34-56 ↵
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定

ADD SWITCH FILTER	6
DELETE SWITCH FILTER	8
DISABLE SWITCH AGEINGTIMER	10
ENABLE SWITCH AGEINGTIMER	11
RESET SWITCH FDB	12
SET SWITCH AGEINGTIMER	13
SHOW SWITCH FDB	14
SHOW SWITCH FILTER	17

ADD SWITCH FILTER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=unicast-macadd PORT=port-number

[VLAN={vlan-name|1..4094}]

ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=multicast-macadd VLAN={vlan-name|1..4094}

unicast-macadd: ユニキャスト MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

multicast-macadd: マルチキャスト MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

port-number: スイッチポート番号（1～。単一ポートのみ指定可）

vlan-name: 作成済みの VLAN 名

解説

フォワーディングデータベース（FDB）にスタティックエントリー（スイッチフィルター）を登録する。スタティックエントリーはシステム全体で 2048 件まで登録可能

パラメーター

DESTADDRESS 登録する MAC アドレス。ユニキャストアドレスは先頭オクテットが偶数。マルチキャストアドレスは先頭オクテットが奇数。マルチキャストアドレスを指定した場合は、指定アドレスに対してパケットストームプロテクションが機能する

PORT 対象となるスイッチポート番号

VLAN VLAN 名か VLAN ID（VID）。出力ポートに VLAN タグが設定されている場合に指定する。省略時は該当ポートのタグなし VLAN を指定したものと見なされる。そのため、ポートがタグ付き VLAN にしか所属していないとき（タグなし VLAN に所属していないとき）は省略できない。出力ポートがタグなしの場合は不要。マルチキャストアドレスを指定した場合は必須

入力・出力・画面例

```
Manager > add switch filter destaddress=00-00-f4-12-34-56 port=1

Operation successful.

Manager > add switch filter destaddress=00-00-f4-11-11-11 port=5 vlan=orange

Operation successful.
```

例

ポート 1 (タグなし) 配下のステーションを FDB に登録する

```
ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=00-00-f4-12-34-56 PORT=1
```

ポート 5 (タグ付き) 配下のステーションを FDB に登録する (所属 VLAN は orange)

```
ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=00-00-f4-11-11-11 PORT=5 VLAN=orange
```

備考・注意事項

- ・ポートセキュリティ (DYNAMIC モード) が有効なポートには登録できない。
- ・ポート認証が有効なポート、MLD Snooping の対象 VLAN に所属するポートには登録できない。

関連コマンド

DELETE SWITCH FILTER (8 ページ)

RESET SWITCH FDB (12 ページ)

SHOW SWITCH FDB (14 ページ)

SHOW SWITCH FILTER (17 ページ)

DELETE SWITCH FILTER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

```
DELETE SWITCH FILTER PORT=port-number [DESTADDRESS=unicast-macadd]
[VLAN={vlan-name|1..4094}]
```

```
DELETE SWITCH FILTER DESTADDRESS=multicast-macadd VLAN={vlan-name|
1..4094}
```

port-number: スイッチポート番号（1～。単一ポートのみ指定可）

unicast-macadd: ユニキャスト MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

multicast-macadd: マルチキャスト MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

vlan-name: VLAN 名

解説

フォワーディングデータベース（FDB）からスタティックエントリー（スイッチフィルター）を削除する

パラメーター

PORT 該当エントリーの出力ポート

DESTADDRESS エントリーから削除する MAC アドレス。ユニキャストアドレスは先頭オクテットが偶数。マルチキャストアドレスは先頭オクテットが奇数。DESTADDRESS を省略した場合は対象ポートのスタティックエントリーをすべて削除する

VLAN VLAN 名または VLAN ID（VID）

入力・出力・画面例

```
Manager > delete switch filter port=2 destaddress=00-00-f4-12-34-56

Operation successful.
```

例

ポート 2 のスタティックエントリー「00-00-f4-12-34-56」を削除する

```
DELETE SWITCH FILTER PORT=2 DESTADDRESS=00-00-f4-12-34-56
```

関連コマンド

ADD SWITCH FILTER (6 ページ)

RESET SWITCH FDB (12 ページ)

SHOW SWITCH FDB (14 ページ)

SHOW SWITCH FILTER (17 ページ)

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER

解説

フォワーディングデータベース（FDB）のエージングタイマーを無効にし、ダイナミックエントリーがエージアウトされないようにする。デフォルトは有効

入力・出力・画面例

```
Manager > disable switch ageingtimer

Operation successful.
```

例

FDBのエージングタイマーを無効にする

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER

関連コマンド

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER（11 ページ）

RESET SWITCH FDB（12 ページ）

SET SWITCH AGEINGTIMER（13 ページ）

SHOW SWITCH FDB（14 ページ）

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER

解説

フォワーディングデータベース（FDB）のエージングタイマーを有効にし、ダイナミックエントリーがエージアウトされるようにする。デフォルトは有効

入力・出力・画面例

```
Manager > enable switch ageingtimer

Operation successful.
```

例

FDBのエージングタイマーを有効にする

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER

関連コマンド

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER（10 ページ）

RESET SWITCH FDB（12 ページ）

SET SWITCH AGEINGTIMER（13 ページ）

SHOW SWITCH FDB（14 ページ）

RESET SWITCH FDB

カテゴリー：フォワーディングデータベース

RESET SWITCH FDB

解説

ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録をすべて削除する。スタティックに登録した MAC アドレスは消去されない

入力・出力・画面例

```
Manager > reset switch fdb

Operation successful.
```

例

ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録をすべて削除する

RESET SWITCH FDB

関連コマンド

ADD SWITCH FILTER (6 ページ)
DELETE SWITCH FILTER (8 ページ)
DISABLE SWITCH AGEINGTIMER (10 ページ)
ENABLE SWITCH AGEINGTIMER (11 ページ)
SET SWITCH AGEINGTIMER (13 ページ)
SHOW SWITCH FDB (14 ページ)
SHOW SWITCH FILTER (17 ページ)

SET SWITCH AGEINGTIMER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

SET SWITCH AGEINGTIMER=1..16383

解説

フォワーディングデータベース（FDB）のエージングタイムを変更する

パラメーター

AGEINGTIMER エージングタイム。1～16383 秒。この時間内に受信されなかったダイナミックエントリは削除される。デフォルトは 300（秒）

入力・出力・画面例

```
Manager > set switch ageingtimer=1000

Operation successful.
```

例

FDB のエージングタイムを 500 秒にする

SET SWITCH AGEINGTIMER=500

関連コマンド

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER（10 ページ）

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER（11 ページ）

RESET SWITCH FDB（12 ページ）

SHOW SWITCH FDB（14 ページ）

SHOW SWITCH FDB

カテゴリー：フォワーディングデータベース

SHOW SWITCH FDB [= {SW|HW}] [ADDRESS=*macadd*] [PORT={*port-list*|ALL}]
[STATUS={STATIC|DYNAMIC}] [VLAN={*vlan-name*|1..4094}]

macadd: MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン [-]、カンマ [,] を使った複数指定も可能)

vlan-name: 作成済みの VLAN 名

解説

フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示する。パラメーター指定により、表示するエントリーの絞り込みが可能。Ctrl+C でスクロールを中止できる

パラメーター

FDB ソフトウェア、ハードウェアのどちらが保持している FDB を表示するか指定する。FDB はハードウェア内部に保持され、そのコピーがソフトウェアによって保持されている。通常は同一の内容となる。省略した場合は SW

ADDRESS 表示の対象となるアドレス

PORT 該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポート。またはスタティックエントリー登録時に指定した出力ポート

STATUS エントリーの種別。STATIC (スタティックエントリー) か DYNAMIC (ダイナミックエントリー)

VLAN VLAN 名。VLAN ID も指定可能。指定した VLAN に所属するエントリーだけが表示される

入力・出力・画面例

Switch Forwarding Database (Software)			
VLAN	MAC Address	Status	Port
1	00-00-f4-27-13-81	Static	CPU
1	00-0a-79-34-0f-15	Dynamic	7
1	00-0e-4c-bb-d3-39	Static	5

VLAN	VLAN ID
MAC Address	MAC アドレス
Status	エントリーの種別。スタティックエントリー（Static）またはダイナミックエントリー（Dynamic）

Port	該当 MAC アドレスを持つ機器が接続されているポート。本製品に IP アドレスが付与されている場合には該当 MAC アドレスに CPU と表示される
------	---

表 3:

例

フォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示する

```
SHOW SWITCH FDB
```

関連コマンド

ADD SWITCH FILTER (6 ページ)
 DELETE SWITCH FILTER (8 ページ)
 DISABLE SWITCH AGEINGTIMER (10 ページ)
 ENABLE SWITCH AGEINGTIMER (11 ページ)
 RESET SWITCH FDB (12 ページ)
 SET SWITCH AGEINGTIMER (13 ページ)
 SHOW SWITCH FILTER (17 ページ)

SHOW SWITCH FILTER

カテゴリー：フォワーディングデータベース

SHOW SWITCH FILTER [PORT={*port-list*|ALL}] [DESTADDRESS=*macadd*]
[VLAN={*vlan-name*|1..4094}]

port-list: スイッチポート番号（1～）。ハイフン [-]、カンマ [,] を使った複数指定も可能）

macadd: MAC アドレス。xx-xx-xx-xx-xx-xx の形式

vlan-name: 作成済みの VLAN 名

解説

フォワーディングデータベース（FDB）のスタティックエントリー（スイッチフィルター）を表示する。パラメーター指定により、表示するエントリーの絞り込みが可能

パラメーター

PORT 対象となるスイッチポート番号または ALL。ALL を指定した場合はすべてのスイッチポートが対象となる

DESTADDRESS 宛先 MAC アドレス

VLAN VLAN 名。VLAN ID も指定可能

入力・出力・画面例

```
Manager > show switch filter
```

```
Switch Filters
```

Entry	VLAN	Destination Address	Port	Action	Source
1	blue (30)	00-00-f4-12-12-13	8	Forward	Static
2	orange (20)	00-00-f4-01-01-01	5	Forward	Static
3	white (10)	00-00-f4-12-12-14	8	Forward	Static

Entry	スタティックエントリーの番号
VLAN	VLAN 名と VLAN ID
Destination Address	宛先 MAC アドレス
Port	マッチしたパケットの出力先ポート
Action	マッチしたパケットに適用する処理。転送（Forward）のみ
Source	エントリーのタイプ。スタティックエントリー（Static）または、ポートセキュリティの Limited モードで学習されたスタティックエントリー（Learn）

表 4:

例

スイッチフィルターを表示する

SHOW SWITCH FILTER

関連コマンド

ADD SWITCH FILTER (6 ページ)

DELETE SWITCH FILTER (8 ページ)

DISABLE SWITCH AGEINGTIMER (10 ページ)

ENABLE SWITCH AGEINGTIMER (11 ページ)

RESET SWITCH FDB (12 ページ)

SET SWITCH AGEINGTIMER (13 ページ)

SHOW SWITCH FDB (14 ページ)